

日本産業規格 A 4 とする。

様式第 2 号の 1-② 【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人メイ・ウシヤマ学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
美容総合 専門課程	高度美容総合学科	夜・通信	175 単位	12 単位	
	美容総合学科 (2 年制)	夜・通信	112 単位	6 単位	
	美容総合学科 (1 年制)	夜・通信	33 単位	3 単位	
	美容総合学科	夜・通信	112 単位	4 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「履修の手引」を作成し、履修指導開始前より総合受付・図書室等で閲覧に供する。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人メイ・ウシヤマ学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて公開している。 https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2019/09/disc-13-3.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公認会計士	平成31年 6月14日 ～令和4年 6月13日	財務
非常勤	会社経営者	平成31年 6月14日 ～令和4年 6月13日	運営体制等全般
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人メイ・ウシヤマ学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>高度美容総合学科、美容総合学科(昼間部2年制・昼間部1年制、夜間部)</p> <p>【作成について】 授業科目については、毎年度、校内会議による授業科目の設定・講義内容についての検証・検討を行い、その結果に基づき、各授業担当教員により、シラバス作成を行っている。 シラバスの様式は、授業科目名、必要時間数、担当教員名・到達目標、授業計画、成績評価方法、教科書に関する記載が必須となっている校内統一様式である。</p> <p>【時期について】 翌年度の授業計画は、前年度の12月に担当教員が作成し、理事会の了承を得て、決定される。3月には、学科別の「履修の手引き(シラバス)」として、総合受付・図書室等において公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学科ごとに「履修の手引き(シラバス)」を作成し、履修指導開始前より総合受付・図書室等で観覧に供する。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成果の評価は、筆記試験または実技試験で70点以上であること、実習授業は8割以上出席すること、教科科目は3分の2以上出席することが必須であり、授業に向けた意欲・態度と、レポート・宿題等の提出物の内容を加味して認定される。 定期試験においては、技術科目の採点は、複数の教員で行い、資格試験に関連する学科科目の問題は、過去の資格試験の問題を参考にして出題している。その他の学科科目は実社会(職場)で役に立つ課題を中心に出題している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価、履修・卒業の要件については、学則により規定している。</p> <p>成績評価については、実習科目と講義科目で基準が異なるものの、出席状況を重視し、十分な出席を果たした学生を対象として、定期試験の得点(70 点満点)、レポート、宿題等の提出物の評価点(15 点満点)、授業態度・意欲等の評価点(15 点満点)の総合点について、100～90 点を「5」、89～80 点を「4」、79～70 点を「3」、69～60 点を「2」、59 点以下を「1」とする。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	学科ごとの「履修の手引き(シラバス)」に掲載し、観覧に供している。
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>ハリウッド美容専門学校は、教育基本法に基づき、美容とファッションに関する知識・技術を授け、人格を高め、美容界並びにファッション界に有為なる人材を育成している。</p> <p>卒業要件については、各学科が定める所定の教科科目・単位を、在学期間内にすべて修得することとしている。詳細については、ディプロマポリシーをはじめ、学則、履修の手引等に記載している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学科ごとの「履修の手引(シラバス)」に掲載し、観覧に供している。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人メイ・ウシヤマ学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-7.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-2.pdf
財産目録	https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-1.pdf
事業報告書	https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/disc-12-12.pdf
監事による監査報告（書）	https://mba.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2020/08/%E7%9B%A3%E4%BA%8B%E7%9B%A3%E6%9F%BB%E5%A0%B1%E5%91%8A%E6%9B%B8.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(1) 高度美容総合学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容総合専門課程	高度美容総合学科		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	124 単位時間/単位	37 単位時間 (単位)	34 単位時間 (単位)	104 単位時間 (単位)	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			175 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		32人	6人	21人	21人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の科目に不合格の場合、追試を行う。 ・進級または卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (%)	15人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 美容業、化粧品会社			
(就職指導内容) 就職セミナー、面接トレーニング等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師免許、SBS1級、睫毛エクステンションアドバンス、パーマ3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	2人	6.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談室を中心に全教職員がそれぞれの学生の事情に対応している。 (担任・学年主任等により個別面談を実施)		

(2) 美容総合学科（昼間部2年制）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容総合専門課程	美容総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時 数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位時間/単位	28 単位時間 /単位	19 単位時間 /単位	65 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			112単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
880人		317人	57人	21人	21人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照	
学修支援等	
（概要） ・所定の科目に不合格の場合、追試を行う。 ・進級または卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
121人 (100%)	0人 (%)	121人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 美容業、化粧品会社			
（就職指導内容） 就職セミナー、面接トレーニング等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師免許、SBS1級、睫毛エクステンションアドバンス、パーマ3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
297人	30人	1.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談室を中心に全教職員がそれぞれの学生の事情に対応している。 (担任・学年主任等により個別面談を実施)		

(3) 美容総合学科 (昼間部 1年制)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容総合専門課程	美容総合学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	27 単位時間/単位	7 単位時間/単位	11 単位時間/単位	15 単位時間/単位	33時間/単位	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	93人	93人	21人	21人	42人		
カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)							
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照							
成績評価の基準・方法							
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照							
卒業・進級の認定基準							
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照							
学修支援等							
(概要) ・所定の科目に不合格の場合、追試を行う。 ・進級または卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。							

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
136人 (100%)	0人 (%)	136人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 美容業、化粧品会社			
(就職指導内容) 就職セミナー、面接トレーニング等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) 美容師免許、SBS1級、睫毛エクステンションアドバンス、パーマ3級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
146人	9人	6.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生相談室を中心に全教職員がそれぞれの学生の事情に対応している。 (担任・学年主任等により個別面談を実施)		

(4) 美容総合学科（夜間部）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容総合専門課程	美容総合学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	67 単位時間/単位	28 単位時間 /単位	19 単位時間 /単位	65 単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			112 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		0人	0人	21人	21人	42人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） ・所定の科目に不合格の場合、追試を行う。 ・進級または卒業基準に満たない場合、補習を行うこともある。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組）		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
高度美容総合学科	150,000円	600,000円	540,000円	「その他」は実習費等
美容総合学科 (2年制)	150,000円	600,000円	540,000円	同上
美容総合学科 (1年制)	150,000円	430,000円	330,000円	同上
美容総合学科(夜)	150,000円	600,000円	540,000円	同上
修学支援(任意記載事項)				
① ハリー・ウシヤマ奨学金(特待生・優待生・奨学生制度)				
② 提携美容サロン奨学金(学費支援)				
③ ジェニー・ウシヤマ奨学金(遠隔地出身者支援)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/self.pdf		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 関係者として関連企業、地域支援者などを含む学校関係者評価委員会を組織し、各委員の知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を実施した。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
独立行政法人大学評価・学位授与機構顧問	令和2年4月1日 ～令和4年3月31日	有識者
全国定時制通信制高等学校長会事務局長	同上	有識者
株式会社代表取締役社長	同上	実務者
株式会社代表取締役社長	同上	実務者
前東京都立高等学校校長	同上	有識者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/self.pdf		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.hollywood.ac.jp/wp-content/uploads/2021/02/self.pdf
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	ハリウッド美容専門学校
設置者名	学校法人メイ・ウシヤマ学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		32人	33人	36人
内 訳	第Ⅰ区分	19人	13人	
	第Ⅱ区分	10人	10人	
	第Ⅲ区分	－人	10人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				36人
(備考) 前半期に3人が受給資格を失い、後半期より4人が受給資格を得た。				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下 のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間数 が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。